



「Vision」で駆動する組織、 そこで必要とされる人財とは？

企業のイノベーション力の向上にあたっては、R&Dや商品開発の領域だけでなく組織全体の「個人」に「Vision」を腹落ちさせるマインドセットの必要性が指摘されています。

新たなビジネスのアイデアをどのように見極め、どのように現場を巻き込むのか？企業でこのようなことに課題を感じている方々に対してVisionで駆動する組織で必要とされる人財像とVision形成の具体的な方法論を提供します。

主催

一般財団法人海外投融資情報財団（JOI）
クロス・フィロソフィーズ株式会社

協力

横河電機株式会社

開催日時

第1セッション：2021年6月10日（木） 15：00～17：00
第2セッション：2021年6月17日（木） 14：30～17：00

開催形式

オンライン（zoom）

定員

30名

受講料

JOI会員企業の方 7,700円、JOI非会員の方 9,900円
（どちらか1セッションのみ JOI会員企業4,400円、一般6,600円）
※料金はすべて税込

対象

経営企画、新規事業開発、イノベーションに携わる方のみならず営業部門、管理部門を含めて広く問題意識をお持ちの方

～プログラム詳細およびお申し込みはJOIホームページ（<https://www.joi.or.jp/>）をご覧ください～

第1セッション 横河電機におけるVision駆動の実際の実組

▶ 講師：阿部剛士氏

横河電機株式会社 常務執行役員 マーケティング本部本部長 CMO 博士(技術経営)

schedule

①15:00～16:20 講演 100年企業の挑戦 マーケティングによる組織改革
～企業文化改革への取組みと21世紀に求められる人財像～

②16:20～17:00 Q&A+ディスカッション (進行：日塔貴昭<JOI専務理事>)

※参加者の皆様からのご質問やご意見を基に講師を交えてディスカッションを実施します。

21世紀はVUCAの世界です。予測は不可能に近く、さらにデジタル・トランスフォーメーション(DX)やコロナによって、企業を取り巻く外部環境変化の速度はさらに加速しています。このような環境下における企業間競争は、もはや企業間における“組織と組織の戦い”と言っても過言ではありません。企業改革において組織改革と企業文化改革はまさに企業における競争優位の“一丁目一番地”と言えるでしょう。

YOKOGAWAは今年で創業106年目を迎えました。次の10年に向けてマーケティングによる大きな企業改革を遂行しており、併せて企業文化改革にも取り組んでいます。本講演ではVISIONに加えてPURPOSEなどの基本的なフレームワークなども含めてYOKOGAWAで実施している改革の事例を交えながら、そのポイントを共有します。そして、今後企業にとって最重要といってもよい“人財(タレント)”に関して、21世紀に必要とされる人財像を問います。

第2セッション Visionを構築する初期段階の方法論

▶ 講師：吉田幸司氏

クロス・フィロソフィーズ株式会社 代表取締役社長、博士(哲学)

schedule

①14:30～15:00 講演 本質的課題を突き止め、意義を確立する「哲学シンキング」

②15:00～16:40 哲学シンキングの体験ワーク

(受講者の皆様にメソッドを体験していただきます。書籍『哲学シンキング』<マガジンハウス>が参考になりますので、ご一読の上、参加されることをお勧めいたします)

③16:40～16:50 講演 事業のVision形成に「哲学シンキング」がどう応用できるのか

④16:50～17:00 Q&A

Covid-19パンデミックや気候変動、EVシフトなど、ビジネスを取り巻く状況はめまぐるしく変わり、予測が困難な時代となっています。こうしたなか、予測できない変化が起こってから対応するだけでは、そのスピードについて行かず、方針も振り回されてしまいます。むしろ、短期的な条件が変わろうとも揺るがない価値や意義について掘り下げ思考し、曖昧な社会に対して自らのVisionを提示していくことが、組織や個人に求められているといえるでしょう。

「哲学シンキング」は、「問いの技法」によって本質的な課題を見極め、「組織や個人が何をなすべきか」を明確にできるメソッドです。2500年以上の歴史をもつ哲学の思考法をもとに開発され、すでに多くの企業で採用されたり、『日経新聞』や『週刊ダイヤモンド』など、数々のメディアで取り上げられたりしています。本セミナーでは、このメソッドの一部を解説・実践し、組織や個人のVisionを深化・拡張させるプロセスを体験していただきます。